



令和6年2月16日(金)
～ときなん祭 雅楽クラブ発表～



「正調 越殿樂」



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第43号 —
2024.2.22



世界最古のオーケストラ

校長 林 幸康

NHK大河ドラマ「光る君へ」での「五節の舞」の映像が話題になりました。あの豪華な色とりどりの衣装は壯観で、見る者の目を奪つたことでしょう。私の目も例外ではありませんでしたがが、私の耳は目以上にあるものに奪われていました。「五節の舞」の背後で奏でられていた雅楽の音色です。雅楽器が奏でる雅な調べが、遠い平安の世のこととしてではなく、血の通う温かさをもつて響いてきたのです。それは、我校の雅楽クラブの子どもたちが奏でる調べと重なつたからだと思います。

雅楽クラブは、平成三年に発足しました。常磐南学区では、当時、お寺や神社のお祭りで、地域のお年寄りによつて雅楽が演奏されていました。しかし、引き継ぐ人がいないことが課題となつていたそうです。そこで、学校の子どもたちが後継者として名乗りを上げ、学区の「雅楽継承会」の支援のもと、本格的に雅楽クラブとして受け継ぐことになりました。

雅楽は、今から一六〇〇年から一二〇〇年前頃、アジア諸国から日本に伝わった音楽を元に、奈良時代、平安時代の国風文化にかけて、日本独自の音楽、舞として成立しました。そして、演奏形式や音色はほぼ当時のまま、現在まで脈々と伝承されていきます。それ故に、雅楽は、「世界最古のオーケストラ」とも呼ばれています。名称についても、雅楽用語である「管絃」が、管楽器（吹物）、絃楽器（彈物）、打楽器（打物）から構成される演奏の名称であったため、明治時代に西欧音楽「オーケストラ」が日本に入ってきた際、「オーケストラ」の日本語訳として「管弦楽」を使うようになりました。二〇一九年十月に天皇陛下の即位を祝う行事の一つ「饗宴の儀」でも披露された雅楽は、日本が誇る伝統音楽です。

我校の雅楽クラブは、萬福寺の〇〇〇〇さんや参州雅楽社中の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんのご指導のもと、地道にその調べを紡いでいます。魂に直接響いてくるような子どもたちの演奏を聞いていて、雅楽の魅力を実感しました。「世界最古のオーケストラ」と言われる雅楽を、常磐南小学校が受け継いでいることは、とても誇らしいことです。これからも、その雅な調べを絶やさないよう、大切に活動を続けていきたいと思います。

ときなん祭(クラブ発表会)

難しかった雅楽

六年 ○○ ○○

ぼくが、ときなん祭に向けてがんばつたことは音取(ねとり)です。音取は、全体の曲が始まる前の演奏のことです。今年、楽太鼓から笙に変わりました。最初は、音が出なくて難しいと感じたけど、だんだん音が出るようになりました。クラブで初めて演奏して、雅楽は楽しいことが分かりました。

【雅楽クラブ】

※音取(ねとり)とは、雅楽で管弦合奏のために作法として行う一種の序奏のこと

緊張したときなん祭

六年 ○○ ○○

私は、なぞなぞゲームをプログラムングしました。正解したら次の背景へ移動するプログラムを制作することが難しく苦労しました。

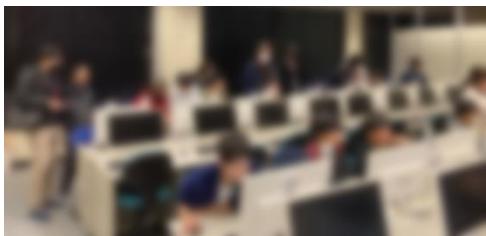
練習の成果が出せたときなん祭

四年 ○○ ○○

本番の日。舞台に上がった瞬間、お母さんとお父さんを見つけて、緊張感が増しました。私の紹介する番になつ

ぼくは遊戯王が好きで、その中でも強くてかつこいいブルーアイズホワイトドラゴンをかこうと決めました。まつすぐな線は定規で引き、文字はていねいに書きました。青を基調に、濃淡にもこだわって色を付けました。キバとツメのするどさや強そくな顔が表現できたと思います。

ときなん祭の後も、正面玄関に掲示してもらって多くの人に見てもらえるのでうれしいです。



【プログラミングクラブ】

堂々と和太鼓を叩いたときなん祭

六年 ○○ ○○

「間違えても失敗したという顔をしないように。そのまま堂々とたたき続けよう。」

と、講師の先生にアドバイスをもらつていきました。演奏をしていくとき、少し間違えてしまつたこともあつたけど、

その言葉を思い出し、最後まで演奏を続けました。三年間の集大成であるときなん祭で自信をもつて演奏できたの



【和太鼓クラブ】



【ダンスクラブ】

はく力のある和太鼓

三年 ○○ ○○

どのクラブの発表もすごいなと思いました。その中でもぼくが一番すきだと思ったクラブは、和太鼓クラブです。はく力があつて最高でした。とくに、「ドン、ドドン、ドドン、それ！」のところがすきです。太鼓をたたくのでつかれているのに、息を合わせてたたけるのがすごいです。ときなん祭を見て、和太鼓クラブに入りました。

たとき、緊張しすぎて言葉を忘れてしまい、頭の中がパニックになりました。でも、最後まで無事に紹介することができたので、安心しました。

めたことです。今年は初めてのダンスクラブの発表なので、どのくらいのむずかしさがみんなにとつてちようど良いか分からず、苦労しました。練習の時間が少なくて、本番に練習の成果が出せるか不安でしたが、無事に終えることができて良かったです。

雪遊び

ゆきあそび たのしかったよ

一年 ○○ ○○

ゆきがたくさんつもつていて、ぼくはわくわくしました。学校につくと、みんなでゆきあそびをするじかんになつたので、ゆきをさわつてみました。ふわふわして気持ちよかったです。ぼくは、ともだちといつしょにゆきだるまをつくりました。ぎゅつとにぎつてかたくしながら、ゆきだまを大きくしていきました。小さいゆきだまは、ゆきがつせんでつかいました。先生にたくさんあてて、たのしかつたです。



【雪合戦】

とつても楽しかった 雪あそび

二年 ○○ ○○

学校のうんどう場に、雪がつもりました。朝から雪がふついて、一時間目には、うんどう場に出て、雪あそびをしました。わたしは、友だちや先



【大きな雪玉づくり】

楽しかった雪遊び

三年 ○○ ○○

運動場一面に雪が積もっていました。まずは、○○くんと雪の上に転がつて遊びました。きれいな人型ができました。

次に、友だちや先生と雪がつせんをしました。みんなで先生に雪玉を投げていて、とてもおもしろかったです。雪遊びが終わるとき、○○くんたちの作っていた雪だるまを見ました。大きな雪だるまですごいなと思いました。来年もみんなでいろいろな雪遊びをして楽しみたいです。



【好きな言葉を書き込む子どもたち】

自分の好きな言葉について

五年 ○○ ○○

ぼくの好きな言葉は、「一球集中や「ありがとう」です。ナナメの教室では、「がんばれ」「いいね」「大好き」「夢はかなう」など、自分がポジティブになる言葉や相手が喜んでくれる言葉など、「自分や相手の心が気持ちよくなるような言葉」が多くなってきました。

このナナメの教室は年に数回しかありません。家族や友達、先生や地域の人たちへ「ありがとう」の気持ちをもちながら、一回一回を大切にして取り組んでいきます。

「とぎなんナナメの教室」は、昨年度から始まりました。子どもたちは、自分の考え方を伝え合う中で、自分なりの答えを見つけることができたようです。保護者の皆様、ありがとうございました。



【グループで意見発表】

第五回ナナメの教室

好きな言葉は人それぞれ

六年 ○○ ○○

◆◆ 参加者
日 時
五・六年生児童・保護者十六名
テーマ
「わたしの好きな言葉」

今回のナナメの教室のテーマは、「わたしの好きな言葉」でした。わたしの好きな言葉は「ありがとう」や「すごいね」などの言われてうれしい言葉が多いです。女子は、わたしと同じで言われてうれしい言葉を書いていた子が多かったです。男子は、ゲームやゴルフなど、好きなことややっていて楽しくなる言葉が多かったです。



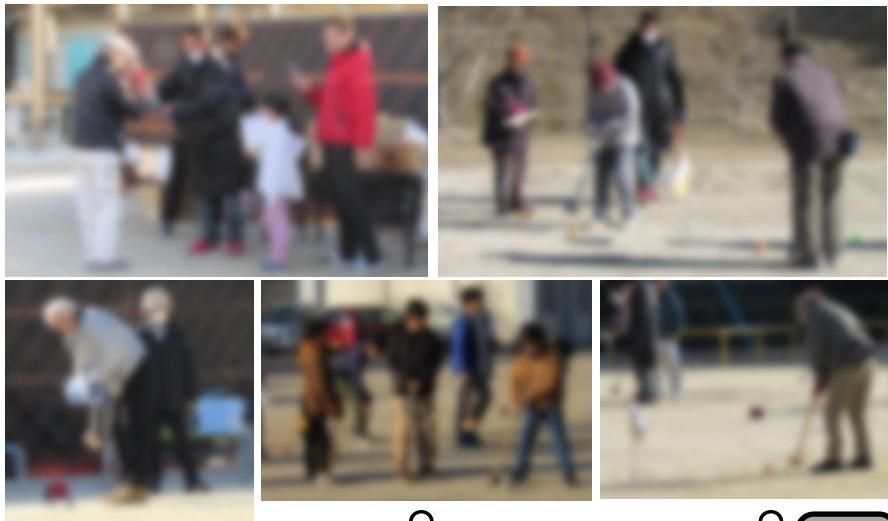
【好きな言葉を書き込む子どもたち】

ナナメの教室では、たくさん意見を言うことができました。授業でも自分の考えた意見を言えるようにしたいです。

常磐南学区グランドゴルフ大会

◆日時 一月二十七日（土）
◆参加者 グランドゴルフクラブ十二名
大人三十一名 子ども五名

スポーツ振興会主催によるグラン
ドゴルフ大会が開催されました。チ
ームリーダーは、グランドゴルフク
ラブの皆さんです。ハチームの対抗
戦は、笑いありの和氣あいあい。樂し
いひとときとなりました。



五年
五年
五年
四年
四年
三年
三年
二年
二年

○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○

六年
五年
五年
四年
四年
三年
三年
二年
二年

○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○

○第五十九回市読書感想文コンクール
【入選】

おめでとう

【個人の部】
一位
二位
三位
四年
五年
六年

○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○

さん



常南の
心

家族を笑顔にする
ほかほか大作戦から

一年担任 ○○ ○○



一年生の生活科に、「かぞくとなかよし」という単元がある。この単元では、家族の一員としての自分の役割を考えることで、自己肯定感を高めるねらいがある。一月に入り、子どもたちと一緒に、どんなことができるのか考え、お家の人の反応を書いてこよう」と伝え、実際に作戦を決行した。

早速、休み明けに子どもの書いてきたカードを見てみると、どの家庭も保護者の方の温かい反応や言葉がけが見られ、子どもたちもそのカードを基に、うれしそうに報告をしてくれた。基本的に、子どもたちは学校で担任の行動をよく見ており、困つていると助けたいと思つて自主的に動いてくれる心の優しさを持ち合わせている。それは、家庭でたくさんの愛情を受けているからだといふのはなく、時間をかけて子どもと向き合つてきた家庭の力だといえる。学級を形成していく中で、自分も友達も大切にし、安心できる空間を作ることが、担任として大切だと感じている。

さて、一年生学級訓は「たね」である。一年をかけて育ててきた「たね」たちは、最後にどんな花を咲かせるのか。その花が学校だけでなく、家庭でも健やかに花開くことを願っている。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金

春休み
修了式
給食終了
卒業式
卒業式準備（午後）
卒業式下校
通学班
一斉下校
見守り隊感謝の会
一斉下校
卒業を祝う会
児童集会
大掃除
通学班会
五時間授業
一斉下校
読み聞かせ最終
委員会最終